

—エコな暮らしの提案—

「豊岡版エコハウスのモデルプラン」を策定しました

市では、豊岡の気候風土にマッチしたエコハウスを普及していくため「豊岡版エコハウスのモデルプラン」を策定しました。その概要をお知らせします。

《問合せ》建築住宅課 ☎21-9018



豊岡市エコハウス

生活の拠点となる「住まい」

づくりで、化石燃料の使用を抑えるための工夫、地元産材を利用することによる森林の保全、合理性や効率性を追求していた生活スタイルの見直しなどを市民の皆さんに考えていただくため、平成21年度に「豊岡市エコハウス」を整備しました。

その性能検証調査を踏まえ、より豊岡の気候風土にマッチしたエコハウスを普及するためのモデルプランを策定しました。

豊岡版エコハウスの

基本的な考え方

「地域の気候風土や敷地の条件等に応じて、自然エネルギーが最大限に生かされること」と「身近に手に入る地域の素材を使うこと」など、環境に負荷を掛けない方法で住宅を

建てるヒントを、市民の皆さんへ提案するものです。

次の四点を基本的な考え方としていきます。

①省エネ性能の確保 目標：

「二酸化炭素(CO₂)排出量を50パーセント削減する」

環境への負荷低減を図るため、CO₂排出量を平成12年と比べて50パーセント削減することを目標としています。

②建物工法の基本

夏は高温多湿、冬は寒冷多雪である豊岡の気象条件を踏まえた木造在来工法を基本とし、木材などの自然素材が持つ調湿機能等を生かすとともに、断熱性、気密性、および換気性に優れた建物とします。

③自然エネルギー(太陽・風)

の活用

家を建てる敷地の日の出、日の入りの方位や季節ごとの太陽の角度、風向きなどを十分把握し、建物の配置を考慮することでさまざまな省エネ効果が期待できます。

④市内建築資材などの積極的活用

市内には、木材の生産、ペレットストーブの燃料製造、太陽光発電パネルの製造などを行う地元企業があります。これらを活用した地産地消を行うことで、豊岡の経済の活性化を図ります。



太陽光パネルを設置した住宅

モデル化への具体的な展開

伝統を生かし、自然と折り合う暮らしの提案として、次の四つの視点で住宅を建てることを推奨します。

①自然のめぐみを

住宅に活かす

敷地の立地・日照条件を読み取り、風の力や太陽エネルギーを利用する。

②夏は涼しく冬は暖かい
住まいをつくる

落葉樹を南側に植えることで、夏の照り返しを防ぎ、冬は葉が落ちて日射が家の中に深く差し込みます。

③環境負荷を減らす設備機器の導入

高効率給湯器や節水・節電機器の導入、木質バイオマスエネルギー（木質ペレット）を利用



ルギー（木質ペレット）を利用します。

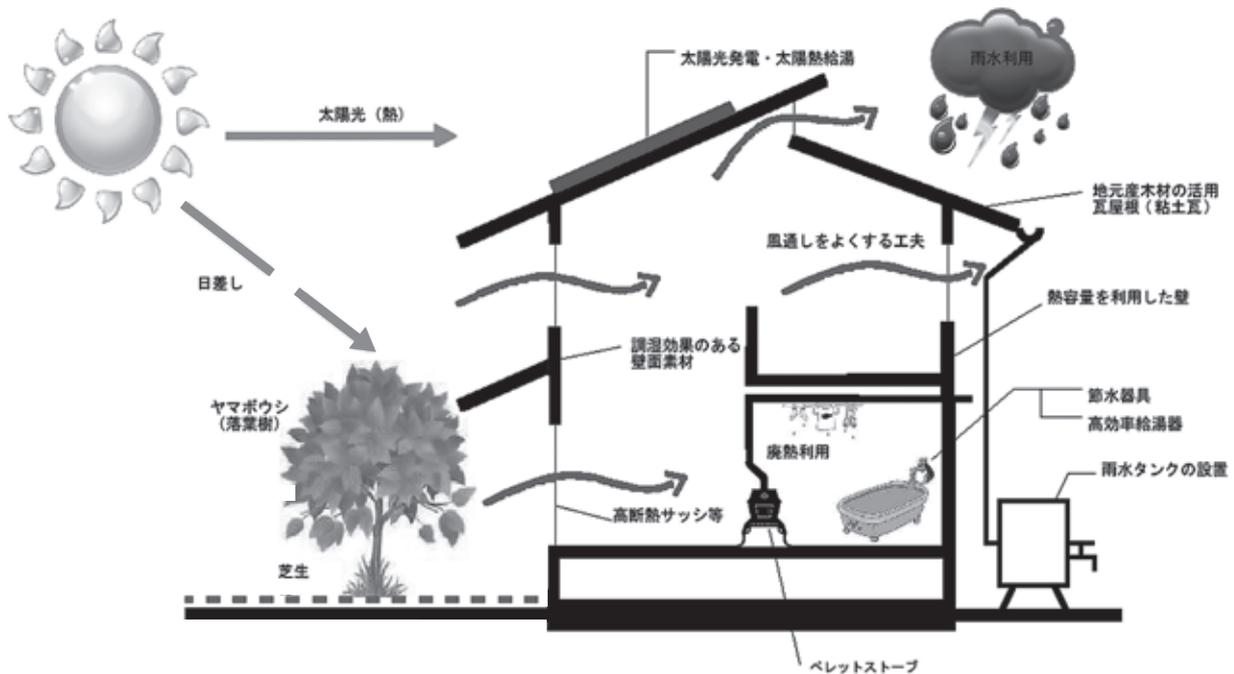
④豊岡の自然・経済への配慮
周りの景観・環境に調和した住宅の形態、市内製造品や地元産木材を利用します。
※前記の四つの視点をまとめたイメージを下部の図に掲載しています。

普及促進

「豊岡版エコハウスのモデルプラン」の普及を図るため、平成24年度に助成制度の創設を予定しています。

このプランは、市ホームページに掲載していきますので、ご覧ください。

豊岡版エコハウスのモデルプランイメージ



豊岡の夏は蒸し暑い

心地よく快適に住もうためには…

- 南面に落葉樹や芝生などを植えることで、夏の強い日差しや照り返しを防ぎます。
- 家の中に風の通り道を設けることで風通しがよくなり、涼しくなります。
- 調湿効果のある壁面素材を用いることで、梅雨時や真夏の高い湿度を和らげます。

豊岡の冬は雪が多く寒くて暗い

暖かく快適に住もうためには…

- 樹木が落葉することで冬の日差しが家の中まで入り、照明費・暖房費の削減につながります。
- 建物を高断熱・高气密にすることで、少ない暖房エネルギーで建物内を暖めます。
- 衣類乾燥などにペレットストーブからの廃熱を利用することで、冬の家事に役立ちます。